

NSG 日本板硝子株式会社  
GROUP

会社概要

商号：日本板硝子株式会社  
(ニホンイタガラス)  
Nippon Sheet Glass Company, Limited  
設立：1918年11月22日  
資本金：116,709百万円(2022年3月末時点)  
上場：東京証券取引所  
プライム市場(証券コード：5202)

東京本社

〒108-6321 東京都港区三田3丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館  
TEL 03-5443-9500 (代表・テブ案内)

大阪本社

〒541-8559 大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友ビル4階  
TEL 06-6222-7512

技術研究所

〒664-8520 兵庫県伊丹市鴻池2丁目13番12号  
TEL 072-781-0081

千葉事業所

〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸6番地  
TEL 0436-61-2111

相模原事業所

〒252-5189 神奈川県相模原市緑区西橋本5丁目8番1号  
TEL 042-775-1501

四日市事業所

〒510-0051 三重県四日市市千歳町2番地  
TEL 059-352-3111

津事業所

〒514-0817 三重県津市高茶屋小森町4902番地  
TEL 059-238-1111

京都事業所

〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町469番地  
TEL 075-934-8218

舞鶴事業所

〒625-8666 京都府舞鶴市大波下小字浜田255番地  
TEL 0773-62-2351

NSGグループウェブサイト

[www.nsg.co.jp](http://www.nsg.co.jp)



会社案内  
CORPORATE PROFILE





# Our Vision

当社は2018年の創立100周年を機に新たなNSGグループ  
経営指針「Our Vision」を策定しました。

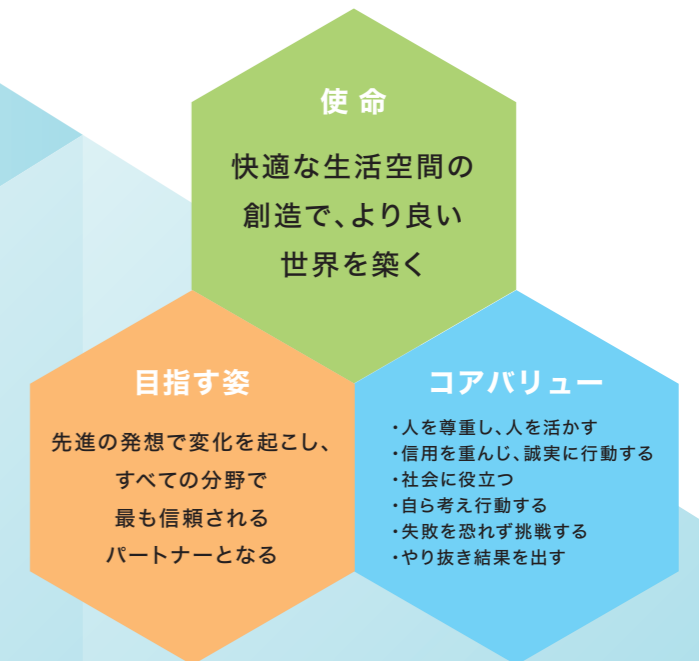
「Our Vision」は会社を変えていく私たちの決意と、長年  
にわたって築かれた価値観（誠実で倫理的な行動、安全と  
技術の追求、人の尊重）を基盤としています。

NSGグループは、Our Visionを経営の指針とし、お客様と  
社会が求める多様なニーズに対して従来のガラスを超える  
プラスアルファの価値を提供することにより、持続的成長  
可能な社会の実現を目指しています。

使命=NSGの存在意義

目指す姿=NSGのなりたい姿

コアバリュー=働き方の基盤となる価値観



## 中期ビジョン：

高付加価値の「ガラス製品とサービス」で  
社会に貢献するグローバル・ガラスメーカーとなる

## 3つの貢献分野

### ■ 快適空間の創造

人々が豊かに快適に暮らす  
空間づくりに欠かせない  
ガラスの基本価値を追求

### ■ 地球環境の保護

グループが持つ要素技術と  
生産技術で再生可能エネルギー  
インフラの普及を促進

### ■ 情報通信分野

情報のデータ化と活用・  
大容量高速通信に必要な  
キーコンポーネントの開発

## 「企業としてありたい姿」

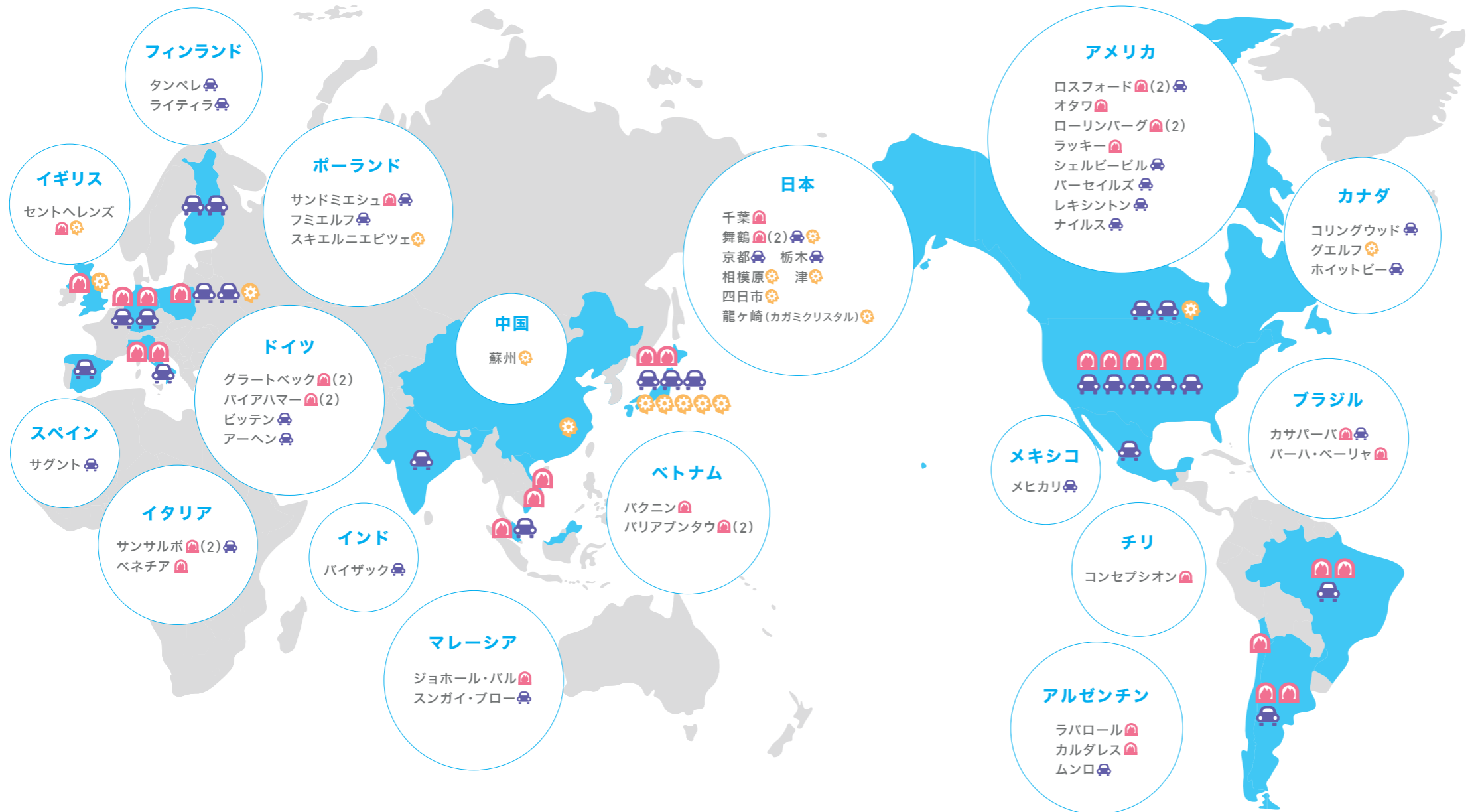
- ・ 常に変革に挑戦し、やり抜き結果を出す企業グループであり続ける
- ・ 事業活動を通じて、従業員が「成長」し、「働く喜び」を得られる企業グループであり続ける

Our Vision／中期ビジョン	P.2
世界のNSGグループ／NSGの歩み／数字で見るNSGグループ	P.3
建築用ガラス事業	P.5
自動車用ガラス事業	P.7
クリエイティブ・テクノロジー事業／ファインガラス事業	P.9
研究開発	P.11
サステナビリティ活動	P.13

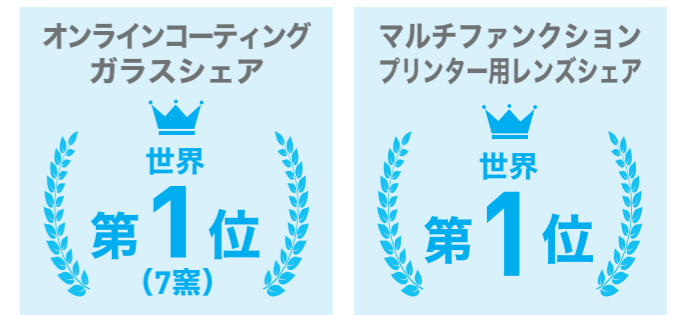
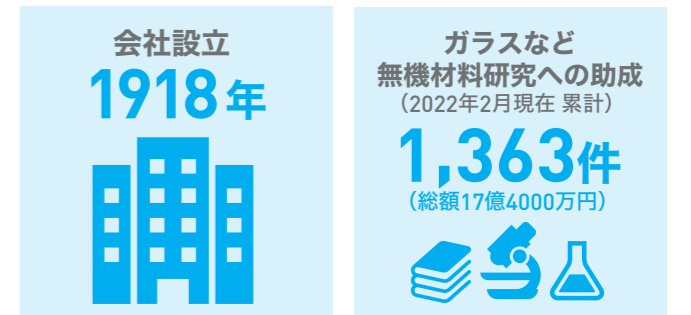
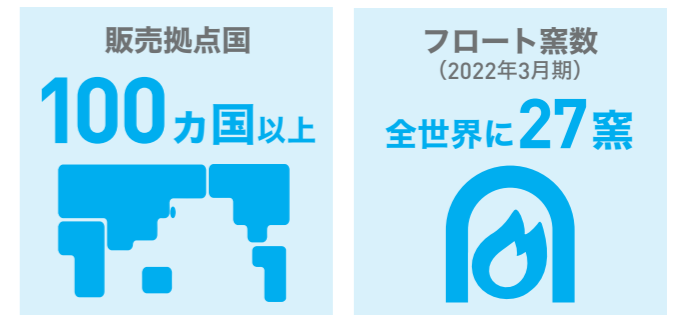
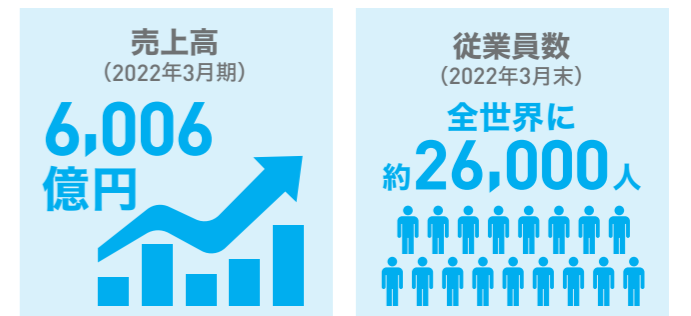
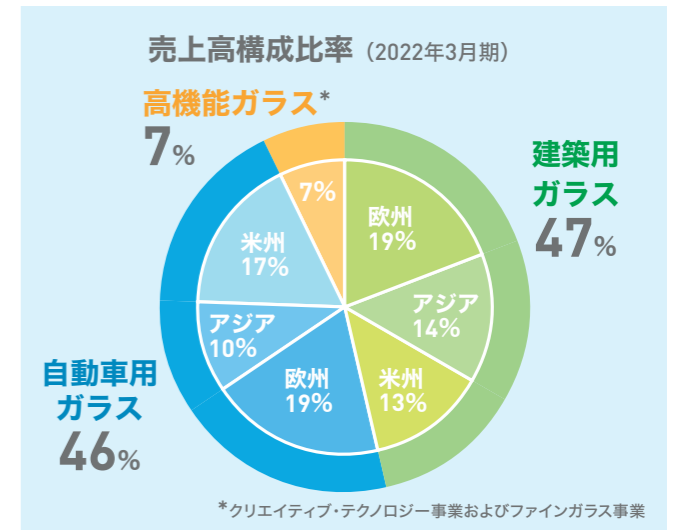


## 世界のNSGグループ

日本板硝子グループ(NSGグループ)は、世界最大級のガラスメーカーとして、日本をはじめ、欧州、北米、南米、アジアの各地に主要製造拠点を擁し、世界100カ国以上で製品を販売しています。



## 数字で見るNSGグループ



## NSGの歩み

<b>1918-1940s</b> 創業・黎明期	1918年	日米板硝子株式会社として大阪に設立
	1931年	社名を日本板硝子株式会社へ変更
	1936年	四日市工場(現・四日市事業所)開設
<b>1950s-1960s</b> 事業拡大とフロート時代の到来	1950年	東京等の証券取引所他に株式上場
	1952年	舞鶴工場(現・舞鶴事業所)開設
	1964年	千葉工場(現・千葉事業所)開設
	1965年	東洋初、舞鶴事業所でフロート板ガラス生産を開始
<b>1970s-1990s</b> 海外進出と事業の多角化	1971年	マレーシアに初の海外製造拠点開設
	1980年	相模原製造所(現・相模原事業所)開設
	1990年代後半	中国、東南アジア(ベトナム等)に製造拠点を開設・拡充

### 2000s ピルキントン 買収と グローバル化

2004年	本店所在地を大阪から東京に移転
2006年	英国ピルキントン社を買収。 板ガラス部門で 世界最大手の一角へ
2008年	委員会設置会社(現・指名委員会等設置会社)に移行

### 2010s~ 高付加価値化の推進と 持続的社會への貢献

2018年	経営指針「Our Vision」策定
2020年	太陽電池パネル用ガラス製造のため北米に新工場、ベトナム拠点増強
2021年	中期ビジョンおよび 中期経営計画「リバイバル計画24(RP24)」を発表



# 独自の技術と付加価値で 建築が向かう未来へ

建築用ガラス事業



建築分野において、なくてはならないガラス。  
建物に居住する人のスタイルや社会の変化によりガラス製品に対するニーズは多様化しています。  
NSGグループは、グローバル市場で信頼される販売ネットワークと先進の技術をベースに、高付加価値な製品を  
数多く生み出しています。

## NSGグループ社員からの一言

NSGグループの建築用ガラス事業は、カーボンニュートラルに向けて、エネルギー効率の向上やCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与する製品を提供しています。  
これからも、さまざまなニーズに対応した高付加価値のガラス製品を開発し、ご提案させていただきます。  
新築はもちろん、既存の建築物の省エネルギーを向上させる活動を進め、カーボンニュートラル達成を目指します。



## 快適空間の創造

快適な住環境のために  
**真空ガラス**



世界で初めて商業生産された真空ガラス「スペース®」は、一枚ガラスの4倍、一般的な複層ガラスの約2倍の断熱性能を実現しています。

内部空間と外部空間の視覚的な一体感を演出  
**高透過ガラス**



「オプティホワイト®」は、一般的なガラスにみられる青みをおさえた透明感のある高透過ガラスです。建築物やショーケースなどの用途に美しく調和し、デザインの自由度を広げます。

## 地球環境の保護

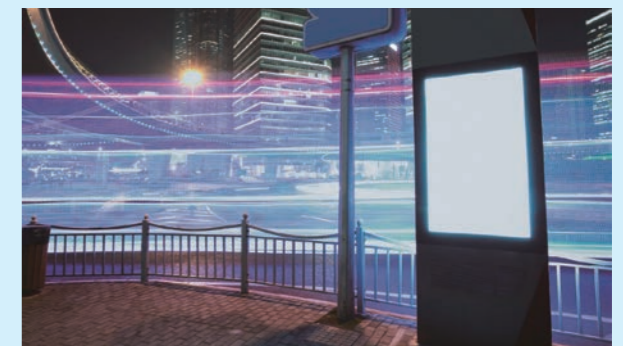
再生可能エネルギーへの貢献  
**太陽電池パネル用ガラス**



NSGグループは、ガラス上に薄い透明導電膜を成膜した製品を用いた「薄膜太陽光発電モジュール」の分野で、太陽光発電の普及をサポートしています。

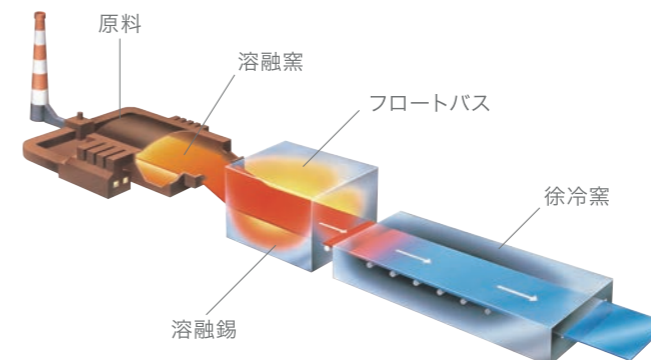
## 情報通信社会への貢献

多機能コーティングが生み出す多様なアプリケーション  
**透明導電膜付きガラス**



オンラインコーティングで製造される高耐久の透明導電膜付きガラス「NSG TEC™」はタッチパネル、デジタルサイネージ、エレクトロクロミック、冷蔵ケース、オープンといった多くの製品に使用されています。

## フロート板ガラスの製造工程



フロート法は、1950年代に現在のNSGグループの一員である英国 Pilkington 社が発明した画期的なガラス製造法です。  
その工法は、約1600°Cまで加熱し、溶けたガラスを溶融錫(スズ)の敷かれた炉(フロートバス)に流し込み、錫の上に浮かべることで、両面が完全に平らで均等な厚みの板ガラスを製造するものです。  
速度を調節し、徐々に冷却しながら成形した板ガラスを連続的に引き出すことにより、所定の厚みの平滑なフロート板ガラスが製造されます。



# 「CASE」に対応した 私たちにしかできない 技術革新を次々と

## 自動車用ガラス事業



Connected (コネクティッド)、Autonomous/Automated (自動化)、Shared (シェアリング)、Electric (電動化)といった「CASE」と呼ばれる新しい領域で技術革新が進む中、クルマの概念は大きく変わろうとしています。NSGグループは、自動車用ガラスのイノベーションを通して、ますます複雑・高度化するニーズに対応した独自の技術と柔軟なソリューションを提供しています。

### NSGグループ社員からの一言

全世界で走る自動車のおよそ4台に1台は、NSGグループのガラスが使われています。自動車が単なる乗り物から多機能な「モビリティ」に変化する中、私たち自動車用ガラス事業も、培った技術を活かした高付加価値な製品開発を拡大しています。新車用だけでなく、補修用、鉄道車両、建設車両などさまざまなガラスを提供しています。窓ガラスに刻印されている「Nippon Safety」は私たちの技術を結集したガラスの印。ぜひ、クルマや列車の窓にもNSGグループの存在を感じてみてください！



### 自動車のつながる化への対応

インターネット回線とつながった自動車は、今や情報端末化しています。この機能の安全な運用を支えるのが、アンテナ技術やガラスに情報を映し出すディスプレイ機能。これまでに培った技術で、ガラスに新たな価値を提供しています。

#### フロントガラスを情報デバイスに AR-HUD (拡張現実ヘッドアップディスプレイ)



周囲の光景と重ね合わせて鮮明に情報を投影させるHUDには、高いガラス面精度のフロントガラス製造技術が必要不可欠です。NSGグループはさらに多様な情報を投影可能な世界初のAR-HUD対応ガラスも提供しています。

#### 高度化する通信をスムーズに 次世代アンテナ



デジタルTVの電波を受信可能なアンテナを搭載したフロントガラスを世界に先駆けて開発し、「つながる」社会の実現に貢献しています。今後を見据えたV2Xアンテナの開発にも取り組んでいます。

### 上質な車内空間の提供

自動車は単なる移動手段にとどまらず、目的地まで快適に過ごすことが出来る空間演出が求められています。

#### 瞬時に透過光を制御 調光ガラス



特殊な調光フィルムにより、瞬時に透過光をコントロールできます (スイッチオン時は透明、オフ時は不透明)。ルーフやパーテーションへの採用により、エレガントな空間を演出します。

### 自動車の安全性

先進運転支援システム (ADAS) により、自動車はより安全性を求められています。視界をクリアに保つフロントガラスは、ADASカメラがうまく作動するための必須条件です。

#### 熱源を使わない曇り防止技術 防曇機能付ガラス



ガラスの曇りを抑え、冬場・梅雨時の厳しい環境下でもADASシステムを安全に作動できる技術です。電力を使わないため、自動車の省エネルギー化にも貢献します。

### 環境分野への貢献

日差しをコントロールし、エアコンの負荷を減らすことは、自動車の省エネルギーに欠かせません。地球環境保護のため、快適なドライビングと省エネの両立が必要です。

#### 太陽の熱を反射して快適温度を保つ Low-Eコーティング



ガラスにコーティングされたLow-E\*膜が太陽の熱や車内の暖房熱を吸収・反射することで、一年を通して車内空間の快適性を高めることに貢献します。  
\*Low-Emissive (低放射)

### デザイン性

自動車のデザイン性は車選びにとって重要な要素です。デザイン、走行性能、安全性を高次元で両立させるNSGグループの挑戦は続いています。

#### 望まれる形状をガラスで実現 複雑形状ガラス



複雑化する自動車のスタイリングと設計ニーズに応えるべく、難形状のガラスの成形技術を絶えず向上させています。



# ガラスで新しい未来を創造する Glass & Beyond

クリエイティブ・テクノロジー事業 /  
ファインガラス事業

情報通信用レンズや特殊ガラス繊維といったオンリーワンのコア技術が事業の起点。  
従来の「板ガラス」の世界にとどまらず、ICT、モビリティ、高機能材料、デザイン・アートの  
各領域でトップシェアを誇る、多くの「ニッチトップ」の製品群を有しています。  
NSGグループのダイナミックな進化と成長を牽引します。



事業部製品ウェブサイト

## NSGグループ社員からの一言

クリエイティブ・テクノロジー事業/ファインガラス事業のガラス製品は、目立たないけれど重要な役割を担う「ニッチトップ」な素材として、人々の生活の様々なシーンで活躍しています。これまで培ってきた技術や社外とのアライアンスによる製品開発を通じて、より良い暮らしや明るい未来のために、ガラスで新しい価値を創造することに挑戦しています。NSGグループのニッチトップガラス製品にご期待ください！



## ICT (情報通信技術)

1968年に世界初の屈折率分布型レンズ(セルフフォック®レンズ)を開発して以来、マイクロオプティクスのパイオニアとして、様々なICT関連商品を生み出しています。

### 光学系情報機器のキーパーツ セルフフォック®レンズ



当社独自のユニークな光学レンズです。スキャナー・LEDプリンター等のOA機器や光学検査・光通信等の用途にも使用され、製品の小型化・省電力化や高速通信の実現に貢献しています。

## 樹脂材料

軽量化、薄肉化ニーズを背景に、ガラスファイバーの利用が進んでいます。ガラスの優位性と高強度・高弾性を両立させた高機能ガラス繊維を提供しています。

### 高弾性高強度ガラスファイバー MAGNAVI® (マグナビ)

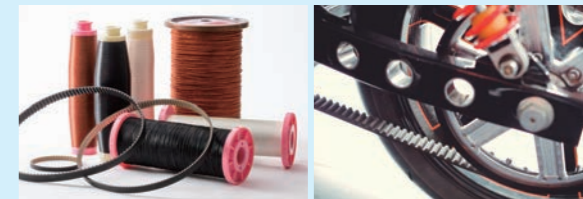


耐熱性、電波透過性等の特性を維持し、剛性と強度を更に高めた新たな繊維強化プラスチック用補強材です。従来品では対応の難しい分野に一つ上のソリューションを提供します。

## モビリティ

「軽くて強い」「燃えにくい」「電気を通しにくい」「薬品に侵されにくい」といった優れた特性を活かしたマイクログラス®が世界中の動力伝達ベルトに使われています。

### ゴム・樹脂製品補強用コード マイクログラス®グラスコード

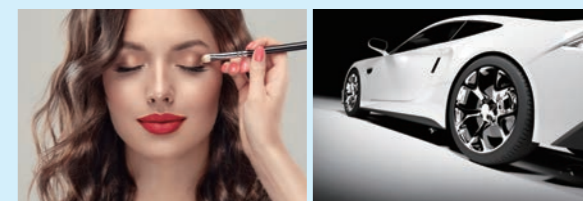


オートバイの電動化が進展する中、「マイクログラス®グラスコード」で補強されたタイミングベルトは環境に優しいモビリティの駆動システムとして、活躍の場が広がっています。

## デザイン・アート

天然由来の安全性と意匠性を両立するガラスフレークを利用した光輝顔料は、自動車、家電、インテリア製品に加えて、ポイントメイクの分野でも活かされています。

### 光の効果でデザインにアクセントを メタシャイン®

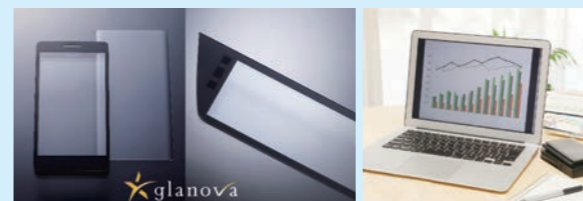


強い輝きと濁りのない色を表現するNSG独自のガラスパール顔料です。多くのポイントメイク化粧品や自動車用塗料に採用され、製品にきらめきと華やかさを演出しています。

## エレクトリック分野 (ファインガラス事業)

スマートフォンやノートPC、カーナビディスプレイといった情報機器の進化にともない、その性能を支えるガラス製品の重要性がますます高まっています。多様化するニーズに対応するため、薄板(0.33mm厚)、化学強化用特殊ガラス、高性能AG (Anti-Glare) ガラス等、様々な製品ラインアップを提供しています。

### 高強度な化学強化用特殊ガラス glanova® (グラノヴァ)



高強度/高透明度/熱加工のしやすさといった優れた性能を持ちながら、フロート製法により低コストも実現した化学強化用特殊ガラスです。

### 映り込みを抑制とクリアな見栄えの両立 高性能AG (Anti-Glare) ガラス



ガラス表面への独自加工技術を活用し、従来では実現できなかったクリアな見栄えと映り込みの抑制を両立。高解像度ディスプレイのギラツキ防止にも対応しています。



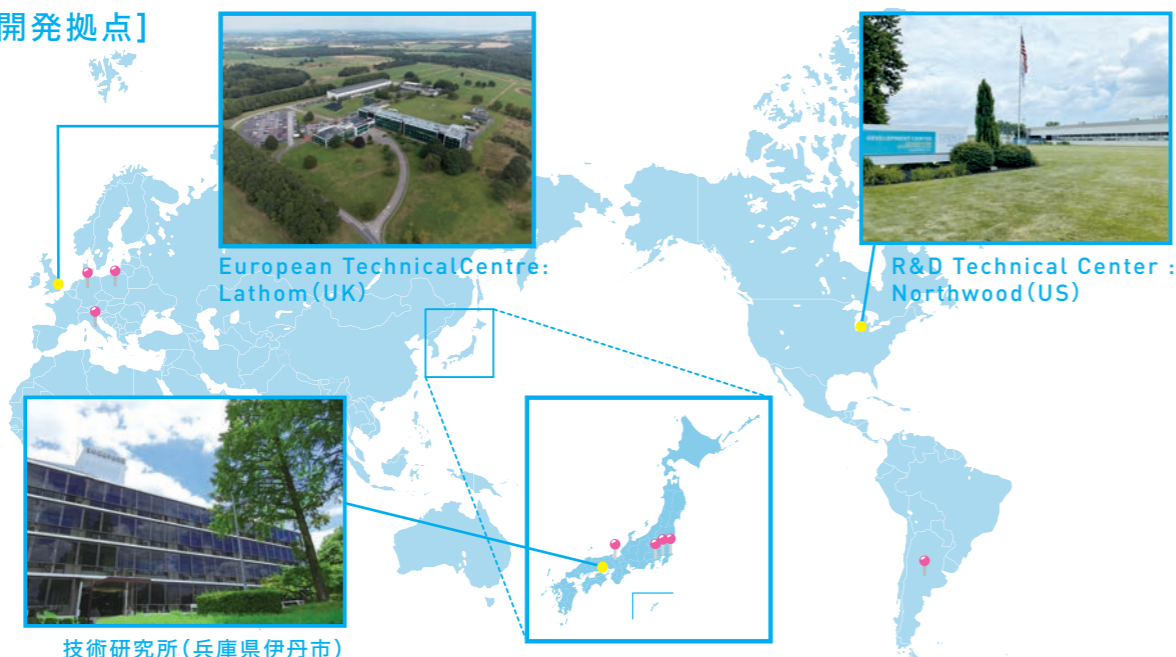
# ガラスの歴史を作ってきた伝統と 次の時代へのイノベーション

## 研究開発

創業以来、イノベーションはNSGグループの根幹です。発明と絶え間ない進歩により、最先端のガラス製品が  
生み出されました。一方で、単に製品の機能強化だけでなく、気候変動、健康、デジタル化など、私たちを取り巻く  
多くの課題に対処するためのガラスのあり方にも焦点を当てています。

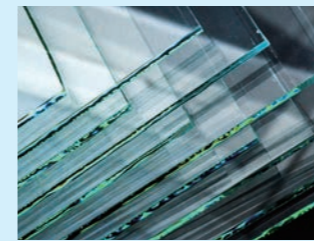
研究開発部門は、グローバルに展開し、多様な人材により未来への課題に取り組んでいます。

### [主な研究開発拠点]



### ガラス技術領域

ガラスの組成設計や熔融・フロート技術の開発を行い、高品質なガラスを創出しています。



- 組成技術
- 熔融技術
- フロート技術

### 薄膜技術領域

当社独自のコーティング技術でガラス製品に機能性膜を形成し、  
社会のニーズにマッチした様々な高性能商品を創出しています。



- CVDコーティング技術
- スパッタコーティング技術
- ソルゲルコーティング技術

### 輸送機材技術領域

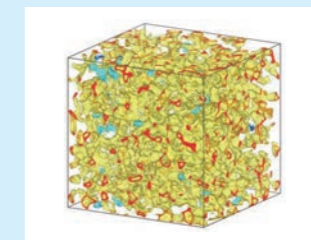
自動車の「CASE」や新たな通信技術、複雑なデザイン性に対応した  
ガラス製品を開発し、モビリティの可能性を高めます。



- 造形技術
- 合せ技術
- ガラスアンテナ技術
- プリント技術
- 機能性コーティング

### 分析・シミュレーション領域

組成・表面・構造分析等ガラスに関する各種分析やシミュレー  
ションを行っています。また、AI/MI技術にも力を入れています。



- 化学分析
- 物理分析
- 原料評価
- 流体・構造・光学シミュレーション
- AI・MI

### 今後力を入れていく研究開発領域

社会課題や新しい技術に対応した研究開発を推進し、「ガラスの力」でより良い社会づくりに貢献していきます。

### 中期ビジョンに基づく3つの重点分野



NSGグループでは、「快適空間の創造」「地球環境の保護」「情報通信  
分野」を中期ビジョンに基づく3つの重点分野として掲げています。  
高付加価値の「ガラス製品」を通じてこれらの社会課題に貢献できる  
よう取り組んでいます。

### カーボンニュートラル



地球環境保護の観点から、カーボンニュートラル(脱炭素)の実現は  
企業にとって重要な課題です。NSGグループでは水素やバイオ燃料  
を用いてガラスを作る研究や、省エネ・創エネを推進する製品の開発  
を通じて脱炭素社会の実現に貢献しています。

### [共同研究パートナー]

研究開発分野では絶えず新しい製品やサービスを生み出し続けていくことが要求されます。  
そこに必要とされるのは創造に対する新しい視点とアイデアです。  
大学などの研究機関のアイデアは社内にはない技術に関する深い知識の宝庫です。  
NSGグループでは国内外の様々な大学と連携して次世代の課題に取り組んでいます。





# 事業を通じて 人と社会に 継続的に向き合う

## サステナビリティ活動



NSGグループは、2018年に策定した経営指針「Our Vision」に基づき、中長期的な企業の持続的成長と持続的社会的実現への貢献を両立するために認識すべき重要課題として、5項目のマテリアリティを定義しました。この目標達成に向けサステナビリティ委員会を中心とした社内活動を推進しています。

### NSGグループが取り組むマテリアリティ

項目	目指す姿
環境	工程改善による温室効果ガス排出低減と環境貢献製品・技術の提供を通じて脱炭素社会の実現に寄与
社会シフト・イノベーション	社会の重要課題を特定し、その解決に貢献する新技術・新製品・サービスをタイムリーに提供
安全で高品質な製品・サービス	品質管理、サプライチェーン管理等により、製品・サービス両面の質を向上
倫理・法令順守	倫理・コンプライアンスの一貫した取組を通じた企業価値の保持・向上
人材	グローバルレベルで変革を率いるリーダー育成、インクルージョン&ダイバーシティ、健康・安全の推進によりグループの持続的成長と従業員の幸福を実現

### 【環境】

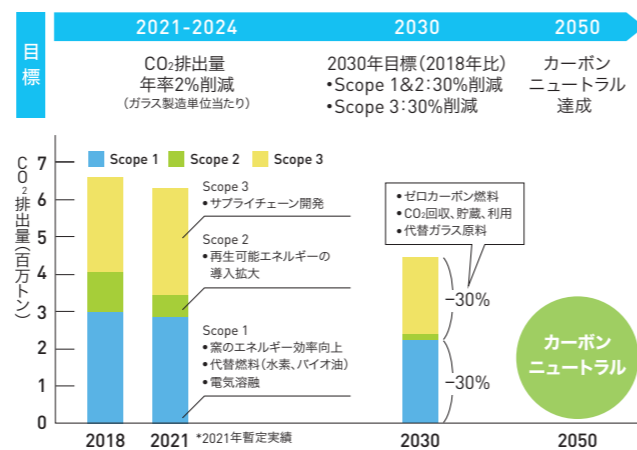
気候変動対策をはじめとする環境問題への取り組みは、NSGグループにおいても最重要課題の一つです。

2022年に当社グループは、2050年までのカーボンニュートラル達成を宣言し、この達成に向けて設定した2030年までのCO<sub>2</sub>削減目標は、日本のガラス製造業で初めてSBTiイニシアティブ (SBTi) 認証を受けました。

世界初の水素エネルギーによる建築用ガラス製造実験成功や、世界初のバイオ燃料を100%利用したフロートガラス製造など、目標達成へ向けた様々な意欲的な取り組みも進めています。

さらに、高断熱ガラスや太陽光発電用ガラスなどの環境貢献製品の提供を通じて、脱炭素社会の実現に貢献します。

#### ■ 2050年カーボンニュートラル達成へのロードマップ



### 【学術支援】

当社は1979年、財団法人日本板硝子材料工学助成会を設立し、各方面からの賛助の下、IT、バイオテクノロジー、エネルギー、環境等さまざまな産業分野で活用される無機材料の研究や無機材料に関する国際会議に対して研究資金の援助を行ってきました。これまでに1,363件に対して、総額17億4000万円 (2022年2月現在) の助成金を贈呈しています。



研究助成金贈呈式

### 【人材】

NSGグループは、インクルージョンとダイバーシティ (I&D) をグループ全体で推進することを目的にグローバルI&D運営委員会を組織しました。このI&D運営委員会を中心に国際女性デーや国際障がい者デーなど様々な社内イベントが実施されています。また、日本では2019年に、従業員の仕事と子育ての両立のため行動計画を策定し、高い水準の要件を満たしたことで、より優良な子育てサポート企業として「プラチナくるみん認定」を受けています。また、Our Visionの実現に向けた人材戦略の一部としてタレントマネジメントを導入しており、グローバル共通の各種制度に基づいて従業員のパフォーマンス管理や人材育成に取り組んでいます。



### 【安全の日】

当グループにとって、人材が最も大切な資産であり、従業員の健康と安全は、事業を推進するうえで中核となるものです。NSGグループでは、毎年10月前後に「安全の日」を設け、従業員の安全について考える日としています。安全に関するイベントの他、メンタルヘルスと健康の促進に焦点をあて、従業員のメンタルヘルスに対する問題意識向上のための活動も行っています。



「安全の日」の活動例